

動

Handsome

Handsome CONTENTS

No.398 October 2022

巻頭
記事

9月例会開催

9月例会を終えて

祝・新店舗オープン特別企画 高井会長の新たなる挑戦!

TSCが誇る3つ星企業

総務委員会主催 インボイス制度を学ぶ!

10月例会に向けて/正副委員長交流会

会員拡大特別委員会が発足! 委員長の熱き抱負

新入会員紹介/役員会報告/編集後記

～今、この瞬間に全力～

◆鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 高井賢一 ◆編集責任者/担当副会長 小谷泰樹 ◆制作・編集 第48期広報委員会/委員長 景山貴司

9月例会開催

『“多様性”アンテナの標準装備』

～潜在する愛とパワーの目覚め～



令和4年9月17日、米子市観光センター2階多目的ホールにてリベラルアーツ委員会担当の9月例会が開催された。冒頭の高井会長の挨拶では「7、8月と猛威を振っていたコロナウイルスも今月に入り落ち着き、各種イベントも「止める」から「動かす」に舵を切った流れに変わってきたと感じております。先日、AIが作ったデジタルアートの作品が史上初めて優勝したという記事を目にしました。様々な分野でAIが活躍しており、

色々と感じることもありますが、私達もAIに負けないように「今、この瞬間に全力」で取り組んで学んでいきましょう。よろしくお祈りします」と述べられた。

続いて新入会員バッジ授与式が行われ、大利大樹会員より当会活動についての意気込みが述べられた。

今月の委員長タイムでは総務委員会の野口委員長より、自己紹介および趣味である隠岐の島の磯釣りの話があり、野口委員長の人となりを知る良い機会となった。



第一部の座学「リベラルアーツとは何か?」では仲佐会員より一般に定義されるセブンリベラルアーツの説明があり、現代社会では「人間としての総合力を高める学び」と考えられ、自身の偏見や固定観念に捉われ

ず、物事を多面的に考察し、価値観の多様性を認めていくことが重要で、そのことについて身近にある事例を通して理解を深めた。

演劇「大切なものは目に見えない」では、物事の見え方や考え方、多様性をどのように理解し学ぶかを表現することで、個々の人間力を養うきっかけ作りの場とし、物事の本質を理解することの重要性について学んだ。

第二部のグループワーク「発見! 運営企業における人材の多様性、そして活躍する企業の人材!」ではチーム毎にイノベーション方法、効果について活発な意見が飛び交い、その後の発表でもユニークな発表があった。若干難しいテーマではあったが、多様性を認め、物事を多面的に捉えることはより良い答えを導き出すためには重要なことであり、9月例会は中央会会員にとってまた1つ学びを得る良い機会となった。



(記事:尾関)

9月例会を終えて



現代の私たちにとってリベラルアーツとは、どういうものなのでしょうか。9月例会では、“多様性アンテナの標準装備～潜在する愛とパワーの目覚め～”のテーマのもとに、まずは個々の多様性を理解することが大切と考えました。そして、そこには幅広い学びが必要であると思います。私自身も例会当日まで人それぞれの価値観、様々な方向からの見え方を意識するようになり、プライベート、仕事面においても少しいつもとは違った側面を持つ場面が増えました。そういう意識を持った瞬間、その目的物に興味湧き、知識を深めたいくなります。価値観の多様性を理解しようとする、そのものをもっと知りたくなるのではないのでしょうか。委員会メンバーと例会内容をブラッシュアップしていく中で、コミュニケーションは不可欠です。そこにはやはり、自分の考えを説明出来て、相手の意見を理解出来て、そしてお互いの意見をすり合わせる事が大切です。1つの企画に取り組むことは人間として成長する学びになるのではないのでしょうか。今後もその意識を大切に委員会運営に取り組んでいきます。

リベラルアーツ委員会 委員長 高岩 雄一
(有限会社 いけまつ環境)

祝・新店舗オープン特別企画

高井会長の新たなる挑戦!

「止まらずに動くことで未来を切り開く」

10月4日に高井会長の記念すべき2店舗目「美酒佳肴ゆらくhanare」がオープンしました。お話によると2店舗目の構想はコロナ禍前からあったそうです。しかし、誰もが予想のできなかったコロナという大きな壁により、その計画は一度足を止めることとなってしまいます。しかし、世の中の意識の変化、そして高井会長自身のこのまま立ち止まるわけにはいかないという熱意と想いが2号店オープンへと再び動き出すきっかけとなりました。場所は米子駅前のお店から歩いて30秒ほどのところ。(会長の場合は20秒と本人談)hanareのコンセプトは『宴会』。席数は通常46席でそれぞれ4~6名程の個室だが、お客様のご利用人数に応じて部屋の広さを変えることが可能なので大人数でも対応が可能。全ての扉を開放することでフロア全体を1つの空間にすることも。まさに宴会を楽しむには快適な空間でした。また「美酒佳肴ゆらくhanare」の魅力とこだわりでもある、内装と料理について詳しく伺ってみました。



こだわりの内装



「全てはお客様への心遣いから」

内装のテーマは「落ち着く空間」。お客様がゆったりとしたスペースで食事を楽しむことが最大のこだわりポイント。なかでも驚いたのはテーブルのサイズ。通常より約1.4倍ほど幅を広くすることで、多数のお皿もテーブルに並べることができ、それでも圧迫間を感じさせない工夫が施されていました。この細かいこだわりがお客様にゆっくりとお食事を楽しんで欲しいという高井会長のおもてなしの心だと感じることができました。

厳選された味わい



「愛される美味しさをお届けします」

名物のさばしゃぶを中心に、山陰の食材をふんだんに使った料理とお酒がテーブルを彩ります。さばしゃぶは、地元の方だけでなく県外の方にもぜひ召し上がって頂きたいと高井会長は語ります。この美味しさを「ゆらくの名物」で終わらせることなく、米子市の名物として全国・世界の観光客へと広げたいと目標を掲げています。そんな高井会長の密かなオススメメニューは鳥取和牛寿司。まだ食べたことのない方は是非召し上がってみてはいかがでしょうか。

現役会員からのお祝いメッセージ



専務理事兼
会計担当理事
安達 信彦
株式会社平設計

高井会長、新店舗のご開店おめでとうございます。コロナ禍にて大きな影響を受けた飲食業界ですが、前へ向けて大きな一歩を進めた姿は会員にとっても【動力】を体現した姿として大きな刺激になります。高井会長のご多幸とお店のご商売繁盛をお祈り申し上げます。



県出向理事
中西 悠介
株式会社LABO

まづもって高井会長2号店出店おめでとうございます!弊社も店舗改装の解体工事をさせていただき、微力ながら2号店出店にお力添えできた事を嬉しく思います。美酒佳肴ゆらく様の千客万来・商売繁盛を心からお祈り申し上げます。また、開店しましたらS55会で盛大にお祝いしましょう!



【高井会長から皆様へのメッセージ】

本音はぜひ当店をどんどん使ってください(笑)!といたいところですが、実際に世の中の考え方、意識は一時のコロナ禍からとても落ち着いてきたと思います。我々飲食店もいつまでも立ち止まっているわけではありません。皆様と一緒に楽しい食事の時間を鳥取県西部の地から取り戻していきたいと思っておりますのでこれからもよろしくお祈りいたします。

美酒佳肴ゆらくhanare

住所:米子市明治町262

TEL:0859-21-2606

営業時間:16:30~00:00

定休日:日曜日



(取材・記事:徳中)



TSCが誇る3つ星企業



有限会社 サンワ 「お客様との縁を大切に今日も走り届けます」



企業紹介企画の第二弾は、動力委員会の藤原会員が勤める有限会社サンワの取材をすべく、松江市の本社に伺って参りました。ご多忙中であるにも関わらず、代表取締役の藤原社長と常務取締役であられる藤原会員にご対応いただき、会員にとっても有益なお話を伺うことが出来ました。サンワ様は、創業45年・設立32年の歴史を持つ企業で、主な事業は食品容器や厨房備品のお得意先があるとのこと。会社に着いて真っ先に目に飛びこんできたのが、ガラスケースに並んだ沢山の種類の食品容器と整理整頓された倉庫に保管された大量の商材でした。そこで感じた徹底された商品管理への姿勢と品格。さらには藤原社長の想いについて触れていきたいと思えます。先ず、業務に取り組む姿勢について、先代の会長の教えである「お蔭様で」という言葉を大切にされています。お客様あつての商売ですが、卸売業は仕入先があつてこそ成り立つ事業であり、常に感謝の心をもって日々業務に取り組んでおられます。日々お客様と深く関わることを意識し、価格等の相談に対しても親身に対応してきた結果、多くのお得意様と末永いお付き合いをさせていただいている。そのようなご縁は大変な難しく、今後も継続していきたいとのこと。次に、攻めの取組みと今後の戦略及び展開について、製造の部分の強化を図っていくとのこと。過去には需要が多かった折詰に使われる木の箱も、時代の流れと共に減少しつつあるところ、自社にて発泡素材の箱を作り始め、値段の高い木の箱の代替品として需要が高まってきているそうです。しかし、自社が取組む事業は今後縮小していく業種だと先を読んでおられ、その中で生き残っていくためには、製造分野を強化し、競合他社や大手メーカーとの差別化を図っていきたくて力強く語っていただきました！

私の会社の3つ星ポイント



1

三つの和(輪)



サンワの仕事は、製造業という業種に捉われることなく、また、商品を販売するというだけではありません。仕入先様とのお取引も大切に、そして販売先の取引先様に繋ぐのがサンワの仕事であり、三つの和があつて初めて事業が成り立つのだという。

2

お客様の縁(宴)の下の力持ち



お客様が営業(宴会)する上で必要な物の多くはネット通販やスーパーで揃えることも出来る世の中ではあるが、今日必要なもの、買いに行く時間がない等、その時にサンワを重宝していただいております。また、中には在庫の管理を任せていただくお客様もおられるとのこと。取引先企業にとって大変ありがたいサービスである。

3

常に改善の意識を忘れない



市況変動による「値上げ」に対しても、そのままお客様にご負担いただくわけではなく、同じ用途の品物でもメーカー選定等によって価格を落とすことが出来ないのか等、従業員全員で意見を出し合い、お取引様のご負担を軽減する努力を怠りません。と、藤原会員に熱く語っていただきました。



所属会員から皆さまへメッセージ 藤原 直之 動力委員会

第48期動力委員会の藤原です。弊社の紹介をさせていただきありがとうございます。取材にあたり会社で話し合い、社員と今後の方向性を認識出来た事など大変意味のあるものになりました。是非今後ともよろしく願い致します！

企業情報

【会社名】有限会社サンワ

【代表電話番号】0852-22-3857

【住所】島根県松江市浜乃木7-9-1

(取材・記事:大江)

取材をした編集部からのおすすめポイント

この度、サンワ様の取材を行う中で、印象的であった事の一つが従業員の皆様のお人柄の良さでした。それは、先代の会長からの想いが受け継がれており、その結果、お得意様とも末永いお付き合いができていたのだと思います。まだ短い付き合いですが、それは中央会での藤原会員の立ち振る舞いでも感じておりましたので、この度の取材は合点がいくものでした。

総務委員会主催 インボイス制度を学ぶ!

総務委員会 委員長 野口 健太郎
(野口電工)



第48期総務委員会の野口です。この度の9月総務委員会では令和5年10月1日より開始されるインボイス制度について谷田講師をお招きし勉強会を実施しました。企業人として税金に関する知識は切っても切り離せないことだと考えております。すでに登録申し込みが開始されていること、令和5年3月31日までに登録書類を提出しなければ10月1日に間に合わないことなど、制度開始が直近に迫っていることに参加者から危機感を感じておられる様子が伝わってきました。今回の勉強会では今期の委員会テーマ「学びと成長」の一環として実施しご参加いただいた方も自身の会社に持ち帰り役立てただけの勉強会になったと思います。

10月例会に向けて



政治行政委員会 委員長 高見 秀幸
(株式会社さんれいワーズ 副参事)

第48期政治行政委員会では地域の人口減少問題に取り組んでいきます。この地域の豊かで輝く未来のために必要な『動力』こそ地域で暮らす人だと捉え、地域の定住人口増加のために我々中小企業が何をすべきなのかを調査研究します。

本例会では、県庁鳥取県ふるさと人口政策課の方をお招きし、第1部では2040年以降の鳥取県のあるべき姿を見据え、人口推移の現状と人口増加へ転じるための課題と取り組みについて学ぶ機会とします。第2部ではポストコロナで変わっていく移住者の現状を捉え積極的な取り組みをされている民間企業の事例を紹介いただき、会員が自社に置き換えた時にどういったことに活かせるかを考えてもらう時間にします。

定住者人口を増加させることが地域の未来のための『動力』となることを学ぶ場とし、行政と民間が共に手を取り合い真剣に意見交換したいと思っておりますので皆様のご参加をお待ちしております。

正副委員長交流会

東部・中部・西部の委員長、副委員長たちで 残暑よりも熱い交流会が開催されました。

9月10日に県事業として委員長・副委員長交流会が鳥取市の株式会社NEXT MOTION社屋にて開催されました。この会場はもともとは小学校で雰囲気はどこか懐かしく、和やかなムードでの開催となりました。そんな中、我々西部地区の気合いの入った服装は会場にどよめきをもたらすこととなりました。そして県会長のご挨拶、各地区の正副委員長の熱き抱負の後に行われたのが「ミッションラリー」。地区の垣根を越えたチーム編成で様々なミッションをこなし、合計点を争う熱き闘いが繰り広げられました。大縄飛びでは汗を流し、フラッシュ暗算では知力を振り絞り、イントロクイズでは心を1つに。そして時には県役員の方々にゴマをすり…と団結しました。様々なミッションを乗り越えながら楽しく他地区との交流できた事はとても素晴らしい機会となりました。コロナ情勢で交流食事が中止となったことは残念でしたが、このような機会をご準備して頂きました、県役員の方々に感謝いたします。



(記事:景山)

会員拡大特別委員会について

会員拡大特別委員会が発足! 委員長の熱き抱負



野口 浩一
会員拡大特別委員会
委員長
(川中・野口法律事務所)

この度、会員拡大特別委員会が設置され、委員長を拝命しました。

会員拡大特別委員会は、OB会員のみならず、所属企業からの中央会入会や候補者の紹介をお願いさせていただく活動を予定しており、私を含めて中央会在籍歴10年以上のベテラン会員計11名で構成されています。

私が入会したのは平成20(2008)年3月、第33期でした。当時の会員数は約100名でしたが、本原稿執筆時点で72名となっており、この14年余りで約30%も減少してしまいました。このまま会員数が減少していくと中央会の活動規模も縮小していきつてしまいます。中央会はもうすぐ50周年を迎えます。OB会員のみならずが紡いでこられた歴史を未来に繋げ、これからも中央会が意義ある活動を続けて地域社会に貢献していくために、多くの仲間とともに50周年を迎えたいと考えております。

OB会員のみならずには大変お手数をおかけ致しますが、会員拡大特別委員会の活動にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新入会員

	おお とし だい き 大 利 大 樹 0型
	株式会社Lightning 代表取締役 電気設備業 〒689-3523 鳥取県米子市福万580-3
(動力委員会)	R04.09(R04年度)入会 (推薦者)明穂(真) 渡部(直)

〈コメント〉この度入会させて頂きました、株式会社 Lightning 大利大樹 と申します。施設、住宅などで電気設備工事を行っております。中央会を通じて多くの事を学んでいきたいと思っております。至らないところもありますが、宜しくお願いいたします。

10月役員会報告

令和4年10月3日(月)米子市公会堂にて10月役員会が開催されました。議題は以下の通りです。

- オフザープ出席ガイドラインの件
- 鳥取県中小企業青年中央会の件
- 鳥取県西部地区青年経済団体連絡協議会の件
- 10月例会開催の件
- …など ※なお、詳細については各委員長までご確認くださいませ。

編集後記

最近、私は「ウルトラマン」になりきった息子(四歳)から「怪獣」役をさせられています。プライベートでも仕事でも「役割」を果たす事は大変な事ですが、やり甲斐があるものだな!と実感する今日この頃です…。

(広報委員会 狩野智邦)